

Oxbridge 研修で手にいれた自分の夢を見つける方法

永井 嵩也

●私がこの研修に参加した理由

私は小さい頃から科学者になるのが夢だった。しかし、それは何か研究をしてみたいと考えていただけで何を研究したいのかは分からなかった。中学生の時、高校調べで Oxbridge 研修の存在を知り、オックスフォード大学やケンブリッジ大学の世界トップレベルの人達と対話し、自分が何を研究したいのかを見つける、またはそのヒントを手に入れるためにこの研修に参加したいと考えたのが、この研修に参加した理由だ。

●研修の目的の達成

私がこの研修に参加した理由は上記の通りだがこの目的は想像以上に早く達成してしまった。

○2日目 科学者 紅林 秀和 先生のレクチャーより

先生のレクチャーから様々なことを学ぶことができたがそのなかでも特に印象に残った言葉を紹介する。

「成長度、充実感、達成感のある選択を常にする。」

私はこの言葉を自分に当てはめて考え、これからの学校生活で成長度つまり効率よく勉強が進む方法を探し、充実感つまり自分がやりきったと感じて自信につながる勉強の仕方を見つけ、そして達成感つまり自分のできることはすべてやるとテスト前に思えるように勉強するようになりたいと思う。

そして、私が一番聞いたかったこと「自分が研究したい分野を決めるとき、何を参考にすればいいのか。」という質問をすると、

「社会のニーズと自分の興味で分野を選ぶ。」

という答えを戴いた。

これからの社会では少子高齢化や地球温暖化が問題になると考えられる。そして、これらの問題に対する解決策を今考えるとすると、高齢者が生活しやすいように生活に便利な物や薬を創ったり、地球温暖化を防ぐために二酸化炭素の排出を抑える方法を考える、などだ。そんな中から自分の興味があるものを探していきたい。私が紅林さんから学んだ「自分が研究したい分野を見つける方法」だ。ここで学んだことはこれからの私の将来で必ず役に立つはずだ。私はこの講義を一生忘れないだろう。



○4日目 海外留学生とのディスカッションより

経済について学んでいるという日本人留学生に、なぜその分野を選んだのかと質問すると、経験と成績から分野を選んだという答えが返ってきた。成績はこれから変わっていくのでともかく、経験について考えると、私は今まで化学や生物の実験をしたり、物理の本を読んだり子供なりにいろいろなことをしてきた。その経験から今のわたしは物理の方向に進みたいと考えている。

この2つの学んだことをまとめて

「自分が何を研究したいのか決める際、社会のニーズ、自分の興味、経験、成績を参考にする。」ということを見つけることができた。

●研修終了？

そうして私はこの研修の目的をわずか4日で達成してしまった。できたではなく、してしまったのだ。

せっかくイギリスという様々なことを学ぶ外国に来たのに、他のことを学ぶ食欲さを忘れてしまった。その後もRAの3人やオックスフォード大学の教授であるクリスからごはんや移動の時に話を聞く機会はたくさんあったというのに。

幸い、英語が身近にあるという特殊な環境にいたこともあり、その日の夜には気づくことができた。

気づいてからは、自分から積極的に何かを学び取ろうとRAに話しかけたり、イギリスの人の話をおおざっぱではなく丁寧に聞いたりした。それによって、その後の研修はそれまでよりももっと有意義に過ごすことができた。それでも1週間しかないこの研修においてほんの数時間とはいえ大きかったはずだ。

教訓

食欲に生きよう

●プレゼンテーションと本場の英語

5日目のプレゼンテーションで私達の班は地震について発表し、私は「地震への対策について」を担当した。テーマも何もない中、英語で、一からプレゼンを組み立てるのは初めての経験だった。班の仲間やクリスの力を借りて作り上げていくのは楽しかったし、非常に良い経験になった。私はもともとあまり人前で話すのが得意ではなかったのだが、積極的に前に出て発表し、多少のミスをし、素晴らしいプレゼンを仲間達と作り上げることで、一皮むけたと自分で思えるほど変わることができた。

また、本場の英語はやはり日本で学ぶ英語とは全く違って、初めは意思疎通が大変だった。しかし、1日もすると聞く方は慣れてきてなんとなく理解できるようになった。しゃべる方もある程度は自分の伝えたいことが伝わるようになった。意思疎通ができるようになると会話も楽しくなった。今になって思うと、もっと大学内の話を聞いておけば良かった。そんな中で最も楽しかった大学生との交流は、あやとりを教えたことだ。

なかなか難しいものは教えられなかったが、簡単な「川」を教えることができたときは嬉しかった。



●まとめ

私はこの研修で自分自身を変えることができたと思う。自分の夢へのヒントを手にいれ、ある程度明確な将来を見ることができるようになった点。積極的に前にでることが苦手だったが、改善することができた点。細かい変化まで挙げるときりがないが多くの点で変わることができた。この研修で学んだこと、変わることができた点を授業、家庭学習に、より一層積極的に取り組むことや行事や委員会で積極的に前にでることで活かしていきたいと思う。

最後にこのOxbridge研修に関わって私達を支えてくださった松井さん、加藤先生、RAのみなさん、諸先生方、一緒に学び合った仲間達、そして陰から見守ってくれた家族。本当にありがとうございました。